

『二つの道』(ヨハネの福音書 12章 36-50節) 2024.1.28.  
<はじめに> 多様性が声高に叫ばれるようになり、人それぞれが自由気ままに自らの好むところを選べるのが当たり前です。しかし、それが万事に適用できるとは限りません。二者択一が迫られる場面は現実にあります。大切なこと、いのちに関わることの多くは、「今」選択が迫られます。

### I 世での活動の締め括り(36b-50)

#### ①身を隠すイエス(36b)

この12章を最後に、イエスは公に群衆に語られることはなくなります。次にイエスが群衆の前に現れるのは、十字架刑を前にして総督ピラトがイエスと強盗バラバを群衆の前に引き出して、どちらを赦免し、十字架につけるかを選ばせる場面です。

#### ②イエスとヨハネのことば

44節以降は、36節前半に続くものと理解すべきでしょう。イエスから群衆への最後のメッセージです。それ故、切迫感と必死さが大きな声になったのでしょうか。36節後半~43節は、預言者イザヤのことば(53:1、6:10)を引用しての記者ヨハネによる挿入文です。

### II ヨハネの指摘(37-43)

#### ①しるしを目撃しても(37-38)

イエスを通して数々の奇跡が行われ、人々はそれを目の当たりにして来ましたが、それでも彼らはイエスを信じません。イザヤ53:1の成就だとヨハネは言います。人は神に奇跡を期待しますが、その結果を欲するだけで、奇跡を行う神を信じ崇めることは稀です。

#### ②正しいことを聞いても(39-41)

イエスの教えが天的で非の打ち所のないのは、群衆も認めるどころです。群衆はそれによって自分の周りが変わることを期待したのではないのでしょうか。しかし、イエスのことばと教えを聞いても、自分の過ちを認めてそれを変えようとは、ほとんどの人は思いません。

#### ③本当に信じているのか(42-43)

この時点では、群衆や議員たちの中にもイエスを信じた者が多くいた、とヨハネは記していますが、但し書きもついています。どんな信じ方だと言えるでしょう。神からの栄誉と人からの栄誉、どちらを重視していますか。イエスが期待する信じ方はどんなものですか。

### III イエスの最後の訴え(44-50)

#### ①繰り返されることば

44-50節で数々のことばが繰り返されています。ぜひ自分でも見つけてください。「わたし」( )、「遣わされた(方・父)」「父」( )、「...者」( )、「その人」( )「世」( )、「わたしの(が話した)ことば」( )、「話す」( )、「言う」( )、「さばく」( )

#### ②イエスとは何者か

本書は読者にこの質問を投げ掛けています。イエスは、自身を遣わした父を反映していて(44,45)、世を救う光(46,47)として現れた方です。イエスが話したことばは、父から自身に託されたそのままを世に語り伝えたものです(49,50)。

#### ③イエスと向き合う(44-48)

人は神を見ることができませんが、この世に遣わされたイエスを通して神に触れることはできます。イエスの生き方・行い・教え・ことばを通してイエスと向き合うことは、今も可能です。イエスを信じ受け入れるか否かが分水嶺となって、終わりの日にその結果を手に入れます。

<おわりに> 12章後半を数回に分けて読んで来ました。時は着実に進み、選択できる「今」はいつまでも続きません。「もうしばらく」「光があるうちに」(35,36)と緊張感をもってイエスは私たちに語り掛け、信じ受け入れるように迫っています。あなたはどうか答えますか。(H.M.)

# 週報

インマヌエル王子キリスト教会 週報 No.69-4(3465)

2024年1月28日 (第4主日)

あなたがたは光があるうちに歩きなさい。光の子どもとなれるように、光を信じなさい。【ヨハネ 12:35-36】

## 第四主日礼拝

午前 10:30-11:30  
(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 46篇 1-2、11節 (旧約 980)

賛 美 飼い主わが主よ (インマヌエル 40)

交 読 詩篇 139篇 1-24節 (旧約 1080)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ヨハネの福音書 12章 36-50節 (新約 210)

牧者公祷

説 教

『二つの道』

松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 主のことばの光のうち (インマヌエル 527)

感謝祈禱

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

\* \* \*

報 告

《引き続き、教会総会を行います》

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉

松井師 牧子師 司会者

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けしています。

週報は、メール・LINE 連絡網でもお届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会

牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: [immanuelojichurch@gmail.com](mailto:immanuelojichurch@gmail.com)

郵便振込: 記号 00180-8 番号 11785

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893

